



発行：原子力発電環境整備機構（NUMO）

<http://www.numo.or.jp/>



紫陽花の色の移り変わりがひととき美しい今日この頃です。

梅雨晴れ、梅雨寒の日もあり体調管理が難しいですが、適度な休息をとって乗り切りたいですね。

本日は、「全国シンポジウム」の開催報告や「2017 深地層の研究施設 親子サマーツアー」のご案内、「ジオ・ミライ号の訪問予定」などの情報をお届けします。

《目次》-----

◆お知らせ/イベント情報など

【開催報告】『全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」

～科学的特性マップの提示に向けて～』を全国9都市で開催しました

【お申し込み開始】8/2：「2017 深地層の研究施設 親子サマーツアー」を開催します

【協力協定の締結について】6/22：カナダ放射性廃棄物管理機関と協力協定を締結しました

【開催報告と予定】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の開催報告と

今後のスケジュールをお知らせします

◆NUMOのひと



◆お知らせ/イベント情報など

【開催報告】『全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」

～科学的特性マップの提示に向けて～』を全国9都市で開催しました

5月14日（日）から始まった全国シンポジウムは、6月18日（日）の大阪会場で全国9都市での開催が終了しました。6月11日（日）の名古屋会場に約220名、6月17日（土）の広島会場に約130名、6月18日（日）の大阪会場に約160名の方にご参加いただきました。

今春のシンポジウム参加者は、9都市合計で約1,400名となりました。

NUMOホームページでは開催概要報告を掲載しております。当日配布資料や動画もご覧いただけますので、ぜひアクセスしてみてください。

▽『全国シンポジウム』開催報告はこちらから

<https://www.numo.or.jp/chisou-sympo/2017/>

【お申し込み開始】8/2：「2017 深地層の研究施設 親子サマーツアー」を開催します

昨年もお好評いただいたイベントの受付が始まりました。

8月2日（水）に地下500メートルの深地層研究施設を見学する親子サマーツアーを開催します。
お子さまは、小学4年生から中学生が対象です。

地下の不思議な世界を親子で楽しみながら学べる貴重な機会ですので、皆さまのお申し込みをお待ちしております！

▽参加無料です。詳細やお申し込みはこちらから

<http://www.numo.or.jp/topics/201717062210.html>

今年も、夏休みにあわせて親子で楽しめるイベントを各地で開催予定です。

日程や内容については、決まり次第、NUMOホームページでお知らせします。お楽しみに！

【協力協定の締結について】6/22:カナダ放射性廃棄物管理機関と協力協定を締結しました

NUMOは、円滑に地層処分事業を進めるにあたり、地層処分に関して、国内および海外の関係組織と様々な協力を実施しています。このたび、カナダ放射性廃棄物管理機関（NWMO：Nuclear Waste Management Organization）と協力協定を締結しました。

▽カナダ放射性廃棄物管理機関（NWMO）との協力協定についてはこちらから

<http://www.numo.or.jp/topics/201717062310.html>

【開催報告と予定】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の開催報告と今後のスケジュールをお知らせします

★コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」訪問実績

- ・6月10日（土）に電力中央研究所 赤城試験センター（群馬県前橋市）を訪問
（参加者：約500名）

電力中央研究所・赤城試験センターへの訪問は昨年につき2度目。年に1度の研究所公開イベントにあわせた出展でした。技術開発に興味がある大人の方や親子連れなど、梅雨晴れの中たくさんの方が来場され、内容の濃い対話活動ができました。

- ・6月14日（水）、15日（木）に東北大学 総合学術博物館（宮城県仙台市）を訪問
（参加者：約220名）

東北大学 総合学術博物館にも昨年につき2度目の出展です。普段のジオ・ミライ号はファミリー層の来場が多いのですが、今回は大学生向けに平日に出展しました。学生からは「地層処分を初めて知った」「ベントナイトの性質について知ることができ、勉強になった」との声を多数いただき、こうした取り組みの継続性を改めて感じた2日間でした。

★今後の出展は以下を予定しています。ご来場をお待ちしております！

(開催日)

- ・6月24日(土)、25日(日)
- ・7月15日(土)～17日(月・祝)

(開催場所)

- 越谷市科学技術体験センター ミラクル(埼玉県越谷市)
- つくばエキスポセンター 屋外展示場(茨城県つくば市)

▽「ジオ・ミライ号」の予定はこちらから

<http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/event/index.html>

ホームページ「よくあるご質問」も随時、更新中！

◆◆NUMOホームページ「よくあるご質問」をご活用ください◆◆

http://www.numo.or.jp/q_and_a/

【NUMOのひと】

皆さま、はじめまして。技術部の松本孟紘です。

新卒職員としてNUMOに入構し、今年で2年目になります。

私は、処分地選定における3段階の地質等に関する調査のうち、第1段階である文献調査を実施するための環境整備として、全国的に整備された地質図の最新データの収集・整備に係る業務を担当しています。また、ボーリング調査技術の実証試験の一環として、地質および地下水流動に係る調査計画立案を行っています。さらに、5月～6月にかけて開催された全国シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」では、ガラス固化体や緩衝材などで構成される多重バリアシステムの模型を用いて地層処分の説明を行うなど、多くの皆さまに地層処分についてご理解いただくための活動も行っています。

上司や先輩のサポートを得ながら、これらの業務を通じて地層処分の全体像や技術的な専門知識の理解の向上を日々行っています。

休日は、小学生の頃から続けているトランペットをアマチュアのオーケストラで演奏しています。トランペットというと、ファンファーレのような華やかな部分を担当する楽器という印象を持たれる方も多いかと思いますが、オーケストラのトランペットは全体の響きやリズムの支えなどの、裏方に回ることも多いのです。裏方をするときには、自分に与えられた音符の役割を理解し、その役割を演奏で表現しつつ周囲との調和をはかることが重要です。この周囲との調和がなかなか奥深く、ときには、難しい部分を担当している方の演奏を自分の演奏でサポートすることもあります。このような調和やサポートが、演奏全体の成功へとつながります。

一方で、前述のファンファーレなど、トランペットが前面に立ってオーケストラ全体を牽引しなければいけない場面もあります。そのようなプレッシャーのかかる重要な場面においては、楽器の持ち方や息の吸い方から始まる基本が最も大切です。

トランペットやオーケストラを通じて学んだ調和、サポート、基本が大切だということは、仕事にも通ずるのではないかと思います。職場ではまだまだ周囲の方にサポートいただくことの方が多いで

すが、自分も周囲の方をサポートできるよう精進するとともに、コミュニケーションを密に図り、調和を大切にしながら業務を進めて行きたいと思ひます。さらに、何事にも基本を大切にすることをお忘れなひように心がけたいと思ひます。

メルマガ登録はこちらから <http://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから webmaster@numo.or.jp

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご意見、ご感想はこちらから webmaster@numo.or.jp

〔連絡先〕 地域交流部 TEL 03-6371-4003
